

JFA 第49回全日本U-12サッカー選手権大会 島根県大会実施要項

1 趣 旨

日本の将来を培う子どものサッカーへの興味・関心を深め、サッカー技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していけるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2 名 称

JFA 第49回全日本U-12サッカー選手権大会 島根県大会

3 主 催

公益財団法人日本サッカー協会
公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社
一般社団法人島根県サッカー協会

4 主 管

一般社団法人島根県サッカー協会第4種委員会

5 後 援

日本テレビ放送網/報知新聞社/島根県教育委員会

6 協 賛

U-12トップパートナー
YKK/花王/日清オイリオグループ/ゼビオ/日本マクドナルド
U-12カテゴリーパートナー
ANA/クレディセゾン/TENTIAL/アディダス ジャパン/日本シグマックス/テーブルマーク/hacomono

7 開催協力

モルテン

8 期 日

2025年11月22日（土） 予選リーグ
2025年11月23日（日） 決勝トーナメント・フレンドリーマッチ

9 会 場

○予選リーグ・決勝トーナメント・フレンドリーマッチ
「松江総合運動公園」陸上競技場・補助競技場
島根県松江市上乃木10-4-1

10 参加資格

- (1) 大会実施年度に日本サッカー協会第4種加盟登録したチーム(以下加盟チーム)であること
(準加盟チームを含む)。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であり、公益財団法人日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。
- (4) 「参加チーム」は、「2025 JFA U-12リーグIN島根」に参加していること。
- (5) 都道府県大会(支部予選含む)から決勝大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- (6) 第49回U-12サッカー選手権決勝大会への「参加チーム」及び「参加選手」は、島根県大会で優勝したチーム・選手とする。
- (7) 「参加選手」は、公益財団法人日本サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証(写真添付されたもの)を持参すること。
※ 選手証は登録システムから出力した選手証(紙媒体)のみ認める。スマートフォン等の電子媒体の持参は認めない。

- (8) 引率指導者は「参加チーム」を「掌握指導する責任ある指導者」であること。「掌握指導する責任ある指導者」とは、大会が円滑に運営されるよう協力し、選手の健康・安全等に十分に指導及び対処できる指導者で、本協会公認コーチ(C級以上を1名)有すること。(ベンチ入りする指導者は2~3名とし、そのうち1名はC級以上とする。)
大会期間中は指導者資格証を携帯すること。(スマートフォン等により確認する。)
- (9) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (10) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
- (11) 移籍選手は支部大会開始1ヶ月前までに移籍を完了していること。

11 参加チーム及びその人数

- 各支部大会を勝ち抜いた上位12チームで各支部代表数は、下記の通り。

松江支部(4)・出雲支部(4)・浜田支部(2)・益田支部(2)

※ なお、島根県大会において、「参加チーム」の構成は選手16名以内、引率指導者2名以上3名以内とする。支部大会において16名に満たない場合は、同一「加盟チーム」内島根県大会で敗退したチームの選手を追加することができる。(入れ替えは出来ない)

12 競技方法

- (1) 試合時間は、前後半とも20分。ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は5分とする。ただし、フレンドリーマッチは、前後半とも15分とし、インターバルは5分とする。
- (2) 試合は、予選リーグとトーナメント方式で構成する。
リーグ戦は、勝ち点(勝利3点、引分け1点、敗戦0点)・得失点差・得点多・該当チームの対戦成績の順で決定する。なお、決しない場合は該当チームでのPK戦にて決する。
トーナメントにおいて前後半で勝敗が決しない場合には、3分間のインターバルの後、10分間の延長(5分ハーフ)を行う。なお決しない場合にはPK戦(4人目以降はサドンデス)にて勝敗を決する。
- (3) 2日目は、初日のリーグ戦各グループ1位、合計4チームによる準決勝、3位決定戦、決勝戦フレンドリーマッチを行う。フレンドリーマッチは2位、3位それぞれ4チームで構成する。組み合わせは、できるだけ同地区同士の対戦を避けるように調整する。
- (4) 試合当日に感染症等の理由によりチームが不参加になった場合は不戦敗とする。スコアは0-3。

13 競技規則

公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」による。

14 競技のフィールド

- (1) フィールドの長さ(タッチライン)は縦68m、幅(ゴールライン)は50mを基準とする。
- (2) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。

○競技場のフィールド

③ ペナルティエリア等

- ペナルティエリア 12m
- ペナルティマーク 8m
- ペナルティマークの半径 7m
- ゴールエリア 4m
- センターサークルの半径 7m

④ ゴール(略)

※ゴールは競技者が負傷しないよう安全に設置しなければならない。

⑤ 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーを挟んで3mずつ)

【8人制サッカールールからの抜粋】

15 試合球

4号球を使用する。(モルテンより提供)

16 競技者の数および交代

- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- (2) 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- (3) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (4) フィールドプレーヤーは、8人制ルールに基づく自由な交代とし、ピッチ内中央交代ゾーンから交代する。
- (5) 競技者の数が8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中の怪我等により8名に満たなくなった場合にはそのまま続行する。6名に満たなくなった場合には試合を続行せず、得点経過にかかわらず得点を0対3とする。

17 ユニフォーム

- (1) チームはエントリー表に登録したユニフォームを着用しなければならない。
- (2) 競技者の用具については、(8)(9)(10)を除いて公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニフォーム規程」に従うものとする。
- (3) 選手番号については、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (4) チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。
- (5) ゴールキーパーは大会に登録されたユニフォームを着用する。
- (6) 緊急避難時（GKが怪我等で交代した場合で交代可能なGKがいない場合）に、フィールドプレーヤーがゴールキーパーになる場合は、シャツのみの交換でショーツ、ストッキングは、その試合ですでに着用しているものでもよい。
戦術的交代の場合はシャツ、ショーツ、ストッキングは試合登録されたGKユニフォームを着用する
- (7) GKは試合開始時には試合登録されたGK登録のユニフォームを上下ともに着用すること。
勝敗を決めるためのPK時にフィールドプレーヤーがゴールキーパーになる場合はシャツのみの交換でよい。番号については試合登録された番号とする。その場合フィールドプレーヤーになるゴールキーパーもシャツを交換する。番号については試合登録された番号とする。
- (8) アンダーシャツは、チームで統一したものであればユニフォームと同色である必要はない。アンダーショーツおよびタイツも同様とする。
- (9) ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープの色はソックスと同色である必要はない。
- (10) フィールド上にアームバンド等を着用したキャプテンがいることを必須としない。

18 テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者2名以上～3名以内。
- (2) その都度、ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

19 審判員

- 1人の主審と2人の副審と第4の審判員が指名される。

20 懲罰

- (1) 支部予選は懲罰規定上の同一競技会とみなす。支部予選終了時点で未消化の退場による出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 決勝大会と本大会は懲罰規定上の当該競技会とみなし、本大会終了時点で退場による未消化の出場停止処分は決勝大会において順次消化する。
- (3) 本大会は日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設置する。
- (4) 大会規律委員会の委員長は第4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (5) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。審判は補充が完了するまで試合を再開できない。
- (6) 本大会において、異なる試合において警告を2回受けた選手・役員は、次の1試合への出場を禁ずる。
- (7) 本大会において退場を命じられた選手・役員は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会で決定する。
- (8) 本協会諸規定及び本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

21 組み合わせ

組み合わせは、あらかじめ県4種常任部会で抽選により決定する。

各支部第1代表をA～Dのグループに抽選で振り分ける。各支部第2代表は同一支部の第1代表と同じグループにならないように抽選する。

支部3・4代表については、フリー抽選とする。

22 権利・義務

島根県大会の優勝チームにはJFA第49回全日本U-12サッカー選手権大会決勝大会(鹿児島県)(2025年12月25日～12月29日)への参加義務を課す。

感染症予防等により、島根県大会が実施できない場合には、各支部第1代表4チームで抽選を行い、決勝大会参加チームを決定する。

支部予選も実施できなかった場合には、U-12リーグの各支部1位チームによる抽選を行う。

23 参加料

¥12,000円(大会1日目本部にて徴収する)メンバー表提出時に支払うこと。

24 登録

指定用紙に必要な事項を記入の上、支部大会終了後、直ちに下記送信先まで電子媒体で提出すること。支部大会を経ずに参加する場合には、島根県大会出場が決定次第、登録を済ませること。

(1)登録後の変更(選手の入れ替え)は原則として認められない。登録の変更は、疾病傷害についての診断書を添えて、大会当日の監督会議までに、一般社団法人島根県サッカー協会第4種委員会会長安部満明まで申請すること。

(2)選手のポジションは、GK(GP)またはFPで統一し、全選手に記入すること。

25 備考

(1)本大会中の選手の傷害について、主催者及び主管者は応急処置はするものの、一切責任は負えない。

(2)メンバー表は2部作成し、自試合30分前までに本部に1部・対戦相手に1部提出すること。

(3)11月22日の監督会議は行わない。必要事項は事前に参加チームにメールで連絡する。

(4)競技場内での飲水は、水のみとする。

(5)大会中の気象状況により、大会日程を変更する場合がある。

(6)全国決勝大会の関係書類は、出場決定後、JFAよりメールで送付される。

(7)決勝戦は試合前にマッチミーティングを実施する。会場、時間は当日連絡する。

(8)大会開会式は行わない。大会閉会式は準決勝進出4チームで行う。

27 大会の中止等について

(1)島根県内で行われるイベントの自粛等の要請が出た場合

(2)選手等のウィルス感染等による活動制限が発生した場合

☆ 本大会の問い合わせ先

一般社団法人島根県サッカー協会第4種委員会委員長 安部 満明

※問合せ先は、チーム関係者に連絡済み

☆ エントリー表送信先

一般社団法人島根県サッカー協会第4種委員会副委員長 荒木 直人 まで

メールで送ること。

※送付先は、チーム関係者に連絡済み